



やった！

この場所でおもしろいことを。

message

進路は一つだけじゃない。いろんなオプションがある人生もいいと思う。



海外の商品展示会でクライアントや現地のバイヤーと一緒にパチリ。「海外で商品売ってみたい」という地元企業に同行し、通訳などの出展サポートをする。これまでにおよそ20カ国への海外輸出を支援した。

海外は遠くない、輸出を身近なものにしたい。そのためにアメリカの大学のビジネスコースも受講して、昔はあんなに勉強が嫌いだったのに、成績はA(中)の英語テストで24点だったことアリ。結局、興味があることなら何でもやれちゃうのかな！

エイグローブ株式会社

代表取締役
小粥おさ美さん
おがい おさみ



【やっていること】中小企業の海外進出支援事業。インターネット上の展示会システム「ウェブエキスポ」の運営

■1969年生まれ ■磐田市出身 ■二俣高校卒業
■高校卒業後、名古屋の大学に進学したものの1年で中退。実家に戻ってアルバイト生活を始め、ためたお金でオーストラリアに留学。帰国後は地元大手メーカーで欧州進出に関わる仕事に就く。その後独立し、通訳・翻訳の仕事を経て2013年に「エイグローブ」を創業。 ■行動指針は「Think Globally, Start Small, Do It Fast」(グローバルに考え、小さなことから今すぐ始める) ■理解ある夫と小学4年生の娘に感謝！

輸出って、意外と簡単。

高

校時代は男の子のことしか考えてなかったです。柔道部のマネージャーになってバスケットの彼と付き合っていました(笑)。進路も全く考えてなくて、大学はとりあえず推薦で行けるところでいいやと思って選んだら、なんと1年で中退。さすがに反省して、好きだった英語を勉強しようと思ったけど、成績が良かったわけじゃないけど、英語は楽しかったんですね。

それからは資金稼ぎのためにゴルフのキャディとかテレフォンアポインターとか割のいいバイトをやりました。そうして念願のオーストラリア留学が実現。大学院まで進み、帰国後は通訳や翻訳の仕事をして、5年前にこの会社をつくりました。

私の仕事は、中小企業が海外と取引をするお手伝いです。世界に商品売りたい地元企業を探して、海外のバイヤーと結び付けます。海外出張はほぼ毎月。貿易って大企業のイメージがあるけど、小さな会社でも簡単にできます。そのためのネット上の展示会システムも開設しました。

海外は遠くない、輸出を身近なものにしたい。そのためにアメリカの大学のビジネスコースも受講して、昔はあんなに勉強が嫌いだったのに、成績はA(中)の英語テストで24点だったことアリ。結局、興味があることなら何でもやれちゃうのかな！



02

栄養管理

和田店のフレッシュジュース販売コーナーでは、旬のフルーツを使っておいしくヘルシーなジュースを提供し、食の大切さを発信している。

目指すは、元気とキレイの充電ステーション

学

校の帰り道、「とりあえず、杏林堂、寄ってく？」

「浜松の高校生あるある」に「杏林堂とさわやかは、全国チェーンだと思ってる」があるくらい、私たちの暮らしに身近なドラッグストアだ。県西部と中部地区に調剤薬局、スーパードラッグストアを展開する杏林堂薬局は、アクトタワーに本社を置く。

入社4年目の小林さんは管理栄養士。病気になってからではなく、病気になるないようにサポートする仕事をしたいという理由で同社への就職を希望した。

食と健康のアドバイスをを行う「健康栄養相談会」や、離乳食指導を行う「子育て支援サークルマミー」、疾患別に食事と運動プランを立てて健康を支援する「栄養食事指導」、店舗内のキッチンカウンターで提供するメニューの考案などを担当し、店舗に連日出向いてフル活躍している。

健康栄養相談、離乳食指導などを行い食を通じて健康をサポートする仕事

管理栄養士
小林絵理さん [25]
こばやし えり



出身高校 静岡県立菟山高校
勤務先 株式会社杏林堂薬局
(本社 中区板屋町)

高校を卒業後、静岡県立大学 食品栄養科学部に進学。国家資格である管理栄養士を取得し、卒業後、杏林堂薬局に就職。健康・医療ネットワーク推進室で、健康と食に関わる事業を担当。

仕事の面白み 赤ちゃんからお年寄りまで幅広い方々とふれあいながら、新しい仕事にいろいろ挑戦できること 休日はずっと同期の友だちと遊びに行ったり、食事をしたりして過ごすことが多いかな 収入 遊びと貯金ができる程度に十分頂いていますが、もっと頑張るのでもう少し増えたいかな(笑) 今後の目標 食物アレルギーの勉強を積んで、離乳食指導などでもっと適切なアドバイスができるようになりたいです 高校生へエールを 親御さんや周りの大人に話を聞いて、いろんな職業のことを知っておくと、将来の選択に役立ちますよ

小児科病院での研修にも参加し、食物アレルギーについても勉強中だ。「新しい仕事に次々と挑戦できるのが楽しいですね。お店でお客さまに声をかけてもらったり、自分のアドバイスを喜んでもらえたりするとやりがいを感じます」

長

泉町出身の小林さんは、現在浜松市内で一人暮らし。社内のマラソンクラブとフットサルクラブ、料理クラブに所属し、同僚たちとの交流を楽しむなど、公私ともに充実した毎日を送っている。10年後の自分の理想の姿についてたずねると、「たぶん結婚して、子供がいて、それでもこの仕事をずっと続けていられるといいな。その頃には自分の子育ての経験を生かして、今よりももっといいアドバイスができるようになるでしょうから」と、キラキラの笑顔で答えてくれた。